



ブラブラット

++A&T 03

谷口暁彦 × SCARTS × 札幌の中高生たち

バーチャル 避難訓練

++A&T –SCARTS ART & TECHNOLOGY Project–(ブラブラット)は、アーティストや研究者、SCARTS、そしてワークショップ等に参加してくれる子ども達とともに、創作する「場」をつくっていくプロジェクトです。毎回「テクノロジー」に関わるテーマを設定した上で、コラボレーションを行っています。

第3弾となる今回は、「バーチャル空間での表現」をテーマとして、メディアアーティストの谷口暁彦を迎え、開催します。

参加する中高生たちは、3Dスキャナーや3Dシュミレーター、ゲームエンジン等を使用し、今自分がいる現実の世界から、仮想の世界への避難訓練を行います。

仮想の世界と、仮想の自分自身を作り上げ、彼らは、何からどのように避難するのでしょうか？

ワークショップを通じて生まれたそれぞれのバーチャル避難訓練の記録を、インスタレーションとして展示します。

会期 | 2020年 **11月3日(火・祝) ~ 22日(日)**

時間 | 11:00 ~ 19:00 入場無料

会場 | SCARTS モールC (札幌市民交流プラザ 2F)

主催 | 札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

++A&T

2020年、新型コロナウイルスの流行によって、私たちの生活は大きく変化しました。感染拡大を防ぐため、現実の空間で大勢の人が集まったり移動することが難しくなっていました。そうした状況でインターネットや、ビデオゲームの中で、展覧会やライブイベントを行う試みが様々に行われています。ウイルスは、人々の物理的な繋がりネットワークを通じて伝播するものですが、インターネットや、ビデオゲームでのそうした試みは、ウイルスのいないバーチャルな場所への避難行動のようにも見えます。

事前に行うワークショップでは、参加する人それぞれにとってのバーチャル空間上の避難所を製作します。最終的にそれらをインスタレーションとして展示し、バーチャルな空間の特性や、避難することの意味、現在の状況について考える手がかりを探ろうと思います。

谷口暁彦



メディア・アート、ネット・アート、ゲーム・アート、パフォーマンス、映像、彫刻作品など、さまざまな形態で作品を発表する。多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース専任講師。主な展覧会に「イン・ア・ゲームスケープ - ヴィデオ・ゲームの風景、リアリティ、物語、自我」(ICC、2019)、個展に「超・いま・ここ」(CALM & PUNK GALLERY、東京、2017)など。企画展「イン・ア・ゲームスケープ: ヴィデオ・ゲームの風景、リアリティ、物語、自我」(ICC、2018-2019)にて共同キュレーションを務める。

関連イベント

|ワークショップ| バーチャル避難訓練 講師：谷口暁彦

2020年11月14日(土)・15日(日) 10:00～17:00(9:30受付) 会場：SCARTS スタジオ(札幌市民交流プラザ2F)

メディアアーティストの谷口暁彦の案内のもと、それぞれの仮想の世界と、仮想の自分自身を作り上げてみましょう。

人数：10人程度(応募者多数の場合は抽選)

応募条件：2日間参加可能な方、コンピューターの基本的な操作ができる方

※年齢制限はありません。PCなどの機材はこちらで用意しますが、持参したPCでの参加も可能です。

参加費：無料

〈申込方法〉SCARTSウェブサイト上の専用応募フォームからお申し込みください。

https://www.sapporo-community-plaza.jp/event_scarts.php?num=1433

〈申込期間〉11月1日(日)10時～11月8日(日)24時



札幌文化芸術交流センター
SCARTS

[お問い合わせ]

札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2F

TEL. 011-271-1955(9時～17時)

<https://www.sapporo-community-plaza.jp/scarts.php>

[交通のご案内] 地下鉄「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結

